

令和5年度「全学FDの日」実施

【期 日】 令和5年9月14日（木）10時～12時

【場 所】 Zoomによる生配信（ならびに後日、オンデマンドによる配信）

URL：<https://us02web.zoom.us/j/86998322491?pwd=STFhcnVhb0xuV2xCTi9vL0lXTWZ0dz09>

ミーティング ID：869 9832 2491

パスコード：244915

【テーマ】 全学教育におけるデータサイエンス教育について

=====

2022年から高校で「情報Ⅰ」が必修となり、2025年度から「情報Ⅰ」が大学入学共通テストの新科目となり、国立大学では受験を必須科目とするなど、情報教育の必要性が高まっています。本学においても、2024年度の新学位プログラムとして「データサイエンス経営学部」の開設を予定しており、全学プログラムとしても、令和3年後期に「文理融合型数理・データサイエンス教育プログラム」を開始し、令和5年度に「文理融合型数理・データサイエンス教育プログラム（応用コース）」を新設しました。

このような状況の下、本年の「全学FDの日」においては、新設学部や教育プログラムの対象授業科目、およびその担当教員に留まることなく、全学で現在の国のAI・データサイエンスに関する政策の意図や、社会から求められる大学全般のデータサイエンス教育について学ぶことで、データサイエンス教育についての共通理解を図る機会とします。

そこで、外部講師として、文部科学省高等教育局専門教育課奥井雅博様に「大学を取り巻く政策動向と数理・データサイエンス・AI教育の推進について」をテーマにご講演いただきます。

その後、本学でのデータサイエンス教育の状況と、ChatGPT等生成系AIの利用に取り組んでおられる学内の先生にご講演いただきます。

=====

【全学シンポジウム】

10:00 ～ 10:05 学長挨拶（5分）

10:05 ～ 10:10 趣旨説明・講師紹介（5分）

10:10 ～ 11:10 外部講師講演（60分）（質疑応答を含む）

文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐 奥井 雅博氏

講演テーマ「大学を取り巻く政策動向と数理・データサイエンス・AI教育の推進について」

11:10 ～ 11:15 休憩（5分）

11:15 ～ 11:55 本学におけるデータサイエンス教育&ChatGPT等の教育・研究における活用例の紹介（40分）（質疑応答含む） 大学教育推進機構 吉田 聡太 助教

11:55 ～ 12:00 全体に関する質疑応答（5分）

【学部等の取組】 →例年どおり、同日午後に個別FDを実施する。（テーマは自由）

（各学部の取組計画は別紙のとおり）

(別紙)

令和5年度「全学FDの日」個別FD活動企画

○地域デザイン科学部

日 時

| | |
|--------------|----------------------|
| 学部全体 | 10月31日(火) 教授会終了後 |
| コミュニティデザイン学科 | 9月14日(木) 13:00~15:00 |
| 建築都市デザイン学科 | 9月5日(火) 13:00~15:00 |
| 社会基盤デザイン学科 | 9月14日(木) 13:00~15:00 |

場 所 各学科会議室

テーマ 障がいを持つ学生への対応を通じた授業改善

内 容

地域デザイン科学部では、部局ミッションの令和5年度計画において「FD学習会を定期的で開催し、リカレント教育、障がいを持つ学生や留学生の受入れ、今時の学生の気質などの課題への対応について、授業改善の方策を検討する。」と定めている。第一段階として、各学科において、障がいを持つ学生への対応について事例を収集した上で通常の授業改善にどのように活かせるか検討を行う。第二段階では、学部学習会において各学科のとりまとめを情報共有し、授業改善の方策を検討する。

○国際学部

日 時 令和5年9月14日(木) 13:30~15:00

場 所 オンライン開催 (Zoom)

テーマ 国際学部の研究のあり方について

内 容

学部ミッション等に基づき将来計画検討員会に設置された研究のあり方WGでは、学部教員の研究業績評価に適用することができ、対外的にも発信できる国際学部の組織としての研究のあり方を踏まえた評価指標・基準を策定することを目標に検討を進めてきた。今回のFD活動では、この検討の経緯と現時点での評価指標案について報告、説明し、意見交換を行う。さらに、今後の検討の材料とするため、国際学部の研究のあり方、教員の研究成果の評価のあり方に関するアンケート調査を実施する。

報告検討事項(仮)

- 1.研究に関するミッション等の確認
- 2.国際学部組織としての研究のあり方について：これまでの検討状況と目標
- 3.組織としての研究のあり方を踏まえた個別の研究の評価に関わる指標案について
- 4.アンケート調査について

○共同教育学部

日 時 令和5年10月24日(火) 16:00~17:30 (教授会終了後のため、若干の変動あり)

場 所 8号館E棟1階 8E11教室

テーマ 高度専門職業人としての教師の養成へ向けた学部と教職大学院の連携・接続

内 容

令和4年12月の中教審(答申)において、高度専門職業人としての教師の養成へ向けて、学部と教職大学院との一層の連携・接続の強化・実質化を推進することが求められている。しかし、学部教育と教職大学院教育の連携・接続がうまくいっているとは言い難い現状にある。今後は、高度専門職業人としての教師の養成に向けて、学部と教職大学院の一体的な教員養成という視点を持って、学部及び教職大学院の教育を展開していく必要がある。

そこで、今回の学部FDでは、以下のような、学部及び教職大学院の教員から学部と教職大学院の連携・接続に関わる情報をご提供いただき、今後の学部教育と教職大学院教育の「連携」・「接続」についてディスカッションを行う予定である。

○工学部

日 時 令和5年9月26日(火) 13:30~ (教授会終了後)

場 所 アカデミアホール

テーマ 工学部におけるデータサイエンス教育について

内 容

2022年から高校で「情報I」が必修となり、2025年度から「情報I」が大学入学共通テストの新科目となり、国立大学では受験を必須科目とするなど、情報教育の必要性が高まっている。この状況を踏まえ、工学部では、基盤工学科への改組と同時に、データサイエンス教育の充実を図った。具体的には、データ科学領域という科目区分を設け、そこに、「プログラミング」と「データ解析」という授業科目を立ち上げた。これらの科目は、必修の共通専門科目とし、1年の後期と2年の前期に履修を義務付けている。そこで、今

年の個別FDでは、昨年、完成年度を迎えたこのタイミングで、これらの科目の実施状況や学生の理解度や反応、実施にあたって苦勞した点、BYODの活用などについて、各授業担当者にお話いただくことで、工学部におけるデータサイエンス教育の状況を振り返る。さらに、活発な意見交換を通して、工学部におけるデータサイエンス教育のあるべき姿について模索する。

○農学部

日 時 令和5年9月14日(木) 13:30~15:30(予定)

場 所 Teams オンライン会議

テーマ 研究の活性化~論文執筆の機会を増やすには~(仮題)

内 容

学部構成教員の研究活動の活性化を目指して、研究遂行、論文作成における悩みや課題を相互に共有し、その解決策について議論する機会を設ける。論文作成の件数が多い学部教員に、研究遂行や論文作成のポイントについて報告してもらい、学科または分野ごとに分かれて情報交換した上で、総合討議の場で課題や解決策を共有する。

次第(予定)

13:30~13:35 学部長挨拶

13:35~14:10 講演(学部教員 石栗太先生)

14:10~15:00 学科または分野ごとに分かれて情報交換

15:00~15:25 総合討議

15:25~15:30 閉会

大学を取り巻く政策動向と 数理・データサイエンス・AI教育の推進について

令和5年9月14日

文部科学省高等教育局専門教育課
課長補佐 奥井 雅博

本学におけるデータサイエンス教育
&
ChatGPT等の教育・研究における活用例の紹介

@全学FDの日 2023年9月14日

宇都宮大学 大学教育推進機構

吉田 聡太

syoshida@cc.utsunomiya-u.ac.jp